

対話で深まる知の学習

11月25日に名古屋大学名誉教授 丹羽公雄先生との科学対話が行われました。大学の先生との話だから難しいかな？わかるかな？と対談を希望した生徒は心配していましたが、始まってしまえばその不安は吹き飛び、語り合うことを楽しむ生徒の笑顔が溢れました。「先生の話が楽しい」「実験がすごい！」だけではありません。そこには、学年関係なく話し合い、意見を出し合い、その繰り返しが新しい知を生み出す。ということを楽しむ姿がありました。

会の中で丹羽先生が話されたことの多くは、「放射線とは」「原子とは」という一方的な説明ではなく、原子や放射線に潜む不思議を生徒に投げかける、「なぜだと思う？」です。

原子や放射線という事物から、対話で科学していく営みの楽しさを感じる、大きな学びある時間でした。丹羽先生、本当にありがとうございました。



【生徒の感想】

僕は科学や物理学のことについて話し合うということが初めてで、自分の意見に新たな視点からの意見が上乘せされ、一つの意見になっていくのがとても楽しかったです。今日、僕が大切にしていかなければいけないと気付いたことは、新たな視点からの疑問をもつことです。この考えで科学を学びいろいろな知識を蓄えた状態でまた先生と対談したいです。 成瀬和輝さん

僕は科学が大好きで、今回の対談がとても楽しみでした。丹羽先生が「ここは？」と話し合いのきっかけを出して下って、1年生、2年生関係なくみんなと話し合っ、意見を出し合うことが楽しかったです。また、霧箱もたのしかったです。簡単な道具だけでとても不思議なことができるなんて驚きました。 浅野雄大さん

丹羽先生との対談では、太陽のことや火のこと、原子や電子のことなど、中学校では習っていない話が聞けて楽しかったです。霧箱では放射線や α 線が通った跡が見えました。もっと見てみたかったです。また、もう一度話ができる機会があるなら、ブラックホールやホワイトホールのことなど、自分が疑問に思っていることを聞きたいと思います。 伊納聡士さん

今日の対談を通して、熱の正体や太陽の秘密、放射線についてなど、普段の授業では習わないことを詳しく学ぶことができました。この対談の最後に、原子核についてなどまだ様々なことが解決されていないということを教えていただいたことで、いつか科学技術を向上させて解き明かしたいと思います。そのために、日々の勉強を頑張り、知識や思考力を育てていきたいです。 柴田一冨さん

先生のお話を聞いて、今まで私達の生活とは関係ないと思っていた科学や研究といったものが少し身近に感じられました。また、放射線は皮膚に触れるだけで死んでしまうようなとても危険なものだと思っていたけど、実は身近にあるものからも出されていて珍しくないものだとわかりました。 伊藤結美さん

科学のことをみんなで話したことで、自分では出てこないアイデアや意見が出てきて、面白かったです。またみんなで話をしたいと思いました。また、丹羽先生の話ももう一度聞きたいと思いました。 杉山龍之介さん